

様式第7-5号（第11条関係）

耐風診断調査票（二次診断）
【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

対象	項目	記入欄
調査担当	会社名・代表者	会社名： 代表者名：
	所在地	
	連絡先	TEL： Mail：
	診断資格者名	氏名：
	診断者の資格	☐ 瓦屋根診断技士 ☐ 瓦屋根工事技士 ☐ かわらぶき技能士（1級、2級） ☐ 建築士（1級、2級、木造） ☐ その他
依頼者	氏名	様
対象建物	住所	
	瓦の種類	☐ J形 ☐ F形 ☐ S形 ☐ PC瓦 ☐ その他（ ） ☐ 防災瓦 ☐ 非防災瓦
	構法	☐ 引掛け桧 ☐ 土葺き ☐ 接着補強 ☐ その他（ ） ☐ 不明（ ）
平部	桧瓦の留め付け	☐ 全数 ☐ 千鳥緊結 ☐ （ ）枚おきに留め付け ☐ 無緊結 ☐ 不明（ ） ☐ くぎ（1本以上） ☐ ねじ（1本以上） ☐ 緊結線 ☐ その他（ ） ☐ 不明（ ） ☐ 瓦の種類がF形かつ非防災瓦である場合、くぎ等2本以上で緊結
	劣化・損傷等の状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明（ ） 部位： ☐ 瓦 ☐ 接合部 ☐ 瓦桧木 ☐ 下葺き材（種類： ） 状態： ☐ 割れ ☐ 浮き ☐ ズレ ☐ 飛散・脱落 ☐ 損傷 ☐ その他（ ）
軒部	軒瓦の留め付け	☐ 全数3点緊結 尻部（2本以上）： ☐ くぎ ☐ ねじ ☐ 緊結線 補強（1本以上）： ☐ パッキン付ねじ ☐ 7形くぎ ☐ 緊結線 ☐ 全数補強なし ☐ 補強なし ☐ 不明（ ）
	劣化・損傷等の状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明（ ） 状態： ☐ 割れ ☐ 浮き ☐ ズレ ☐ 飛散・脱落 ☐ 損傷 ☐ その他（ ）
けらば部	袖瓦の留め付け	☐ 全数3点緊結 尻部（2本以上）： ☐ くぎ ☐ ねじ ☐ 緊結線 補強（1本以上）： ☐ パッキン付ねじ ☐ 7形くぎ ☐ 緊結線 ☐ 全数補強なし ☐ 補強なし ☐ 不明（ ）
	劣化・損傷等の状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明（ ） 状態： ☐ 割れ ☐ 浮き ☐ ズレ ☐ 飛散・脱落 ☐ 損傷 ☐ その他（ ）
棟部	棟の種類・状態	☐ 冠瓦伏せ棟の場合 冠瓦の固定： ☐ 全数留め付け ☐ （ ）枚おきに留め付け ☐ なし ☐ ねじ ☐ くぎ ☐ 緊結線 不明（ ）
		☐ のし瓦積み棟の場合 大棟（ ）段 隅棟（ ）段 ☐ 下り棟（ ）段 冠瓦の固定： ☐ ねじ ☐ トンボ（棟芯あり） ☐ トンボ（棟芯なし） ☐ 大回し等 ☐ なし ☐ 不明（ ） のし瓦の固定： ☐ 緊結線（相互緊結） ☐ なし ☐ 不明（ ）
	劣化状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明（ ） 状態： ☐ 浮き・ズレ ☐ 脱落 ☐ 損傷 ☐ 緊結材の切れ・浮き ☐ しっくい劣化 ☐ その他（ ）
谷部	谷部の状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明（ ） 状態： ☐ 瓦の浮き・ズレ・脱落 ☐ 板金の孔開 ☐ その他（ ）
改修が必要な部位★		☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部 ☐ 谷部 ☐ その他（ ）
診断結果		☐ 地震又は強風により脱落・飛散するおそれが高い。（上記「改修が必要な部位」がない）
		☐ 耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。（上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある）
所見・要望事項		

※下線は令和2年国土交通省告示第1435号により改正（令和4年1月1日施行）された昭和46建告第109号の規定に対応する仕様を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図等にその位置と写真番号を示す。

★「改修が必要な部位」が告示基準に適合する場合、原則、その部位の改修工事については補助対象外とする。

☐ 屋根伏図 ☐ その他 ()		
(写真を添付)		(写真を添付)
改修が必要な部位		改修案
☐ 1 階 ☐ 2 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部 (棟) ☐ 谷部 ☐ その他 ()	
☐ 1 階 ☐ 2 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部 (棟) ☐ 谷部 ☐ その他 ()	